



平成 30 年度 沢地小学校区 第 1 回地域コミュニティ連絡会のまとめ



作成：三島市役所 地域協働・安全課 きずなづくり推進室（TEL：055-983-2708）

5月31日（木）に開催された「平成30年度沢地小学校区第1回地域コミュニティ連絡会」にご出席いただきまして、誠にありがとうございました。当日の発言や意見をまとめた資料ができましたので、送付いたします。（三島市のホームページにも掲載しています）

■開催概要■

日 時	平成 30 年 5 月 31 日（木）19:00～20:45		
会 場	市民体育館		
参加団体 (22名)	富士ビレッジ自治会 沢地町内会 光ヶ丘1丁目町内会 光ヶ丘3丁目町内会 富士見台自治会 交通安全母の会 沢地幼稚園	沢地小学校 北中学校 山田中学校 スクールガード 三島市子ども会連合会 体育振興会 消防団第3分団	三島署管内防犯サポーター 保護司会 光ヶ丘白光会 保健委員会 三島市社会福祉協議会 北上地区地域包括支援センター

■次第■

開会・市長あいさつ

- 1 「コミュニティ連絡会について」
- 2 「地域の情報を共有しよう」
- 3 「現在の状況を確認しよう」
- 4 「地域でできることを考えよう」
- 5 「話し合いの内容発表」
- 6 「アンケート記入」



「地域の情報を共有しよう」のまとめ

各団体間の情報やお願いしたいことなどを共有しました。

■主な情報交換の内容

団体	情報の概要
光ヶ丘白光会 (シニアクラブ)	<ul style="list-style-type: none"> ・光が丘は高齢化率が市内で最も高い地区です。 ・老人会の会員が増えないことが課題になっています。 ・輪投げや教養講座、餅つき、歌声喫茶などを開催していますが、参加者が減少傾向にあります。
体育振興会	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的にソフトバレーを開催しており、9月下旬に校区の体育祭もあります。ぜひ参加してください。
北中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・新築された南校舎が完成し、すばらしい環境で過ごすことができます。工事期間中は、地域の皆さんご協力ありがとうございました。 ・中学生を地域で活躍させてほしいです。そのような機会を作ってください。
沢地町内会	<ul style="list-style-type: none"> ・沢地小学校付近にホテルが出るところがあり、見に来る人もいますが、「うるさい」との意見も一部にあります。 ・毎月、公民館と神社の清掃を組ごとに当番制で実施しており、住民同士の顔合わせの場にもなっています。 ・公民館は、地元住民以外の人でも利用できるもので、ぜひご活用ください。 ・駒形神社で新年の顔合わせを行っており、きずなづくりになっています。
富士ビレッジ自治会	<ul style="list-style-type: none"> ・住民の中から得意なことがある人を発掘し、みんなで体験するホットカフェやサロンを月1回開催しています。 ・ラミQクラブ（高齢者の脳トレ）を始めました。 ・「たまりば・かど」で歌声喫茶、まちかどサロンなどを定期的に開催しており、まさしく高齢者等の居場所づくりをしています。孤独死対策として、「たまりば一休」で食事の取組みも行っています。
交通安全母の会	<ul style="list-style-type: none"> ・4月から挨拶運動をしています。 ・スクールガード、PTA、先生方と協力して子どもたちを見守ります。
消防団第3分団	<ul style="list-style-type: none"> ・団員が不足しており、活動がままならない状態です。良い人がいたら紹介してください。
沢地小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA、おやじの会、学校支援地域本部をはじめ、地域に支えられている学校だと思えます。6月には運動会のほか、おやじの会主催の「イザカエルキヤラバン」もあります。 ・6月は、授業も公開しているので、見に来てください。
山田中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・開校27年目の学校ですが、生徒数が減少しています。（開校時：750人→今年：283人） ・今年は、これまで30%以下だった訓練の参加率を上げたいです。
三島署管内 防犯サポーター	<ul style="list-style-type: none"> ・5月1日に発行された市の広報紙の表紙に北小の防犯教室が載っていました。そのような活動をしています。

団体	情報の概要
沢地小学校 支援地域本部	<ul style="list-style-type: none"> ・設立5年目の組織で、4分野（学習支援、授業補助、環境整備、見守り）について取り組んでいます。現時点で登録されているボランティアは60人弱で、もっと増やしたいと思っています。
保護司会	<ul style="list-style-type: none"> ・罪を犯した人を更生するための組織です。 ・近年、犯罪件数は減少していますが、高齢者の窃盗が増えています。課題として社会的、経済的な孤立が挙げられます。 ・覚せい剤やギャンブルなどの依存症も増えています。
地域包括 支援センター	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年6月から認知症カフェを北上文化プラザで開いています。 ・沢地地区でも活動ができないか検討していますが、出前講座などもできますので、ご相談ください。
沢地幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> ・児童数が減少しています。（5～6年前：70～80人→現在：55人） ・幼稚園 de 遊ぼう会があるので、ぜひ小さな子に宣伝してください。

「地域でできることを考えよう」のまとめ

今回の連絡会のテーマである「居場所づくり（高齢者と子どもの交流等）」と「地域で子どもを育てる」のうち、各参加者が希望するテーマを1つ選択し、各テーマに分かれて意見交換しました。

	居場所づくり(高齢者と子どもの交流等)
	地域で子どもを育てる

意見交換の結果の概要は次ページ以降に掲載しています。



■グループ別意見交換のまとめ

グループA

居場所づくり(高齢者と子どもの交流等)

校区内での活動状況

●富士ビレッジでは盛んな活動がある

- ・介護予防教室（富士ビレッジ）
- ・MCI（軽度認知障害）健康教室（富士ビレッジ）
- ・月一回のほっとカフェ、週一回のラミィキューブ脳トレゲーム（富士ビレッジ）
- ・歌声喫茶—シニア、シニア食堂、懐古食堂おにぎりソバ、コーヒーサロン、脳トレ体操 MCI
- ・3世代子育てサロン“英語であそぼ”（富士ビレッジ集会所）

●社協の支援がある

- ・県営光ヶ丘団地いばしょ 101 支援に入っています（社協）
- ・社協が出前講座をしてくれる
- ・誰でも参加自由⇒情報発信をする
- ・光ヶ丘、眞の居場所づくりが出来ていない。商店街で検討している
- ・認知症カフェ（北上）

課題・問題点

■富士見台では居場所をやっていない

- ・現状はやっていないと思います。坂道が多く場所もない富士見台です
- ・場所がなくやっていない（富士見台）
- ・なぜできないか？やる人集まらず
- ・老人会（白光会）入会者の減少
→加入者の増加を図りたい

■高齢者には行くのが大変

- ・高齢化で坂道が大変
- ・居場所までの足がない

活動の拡大・新たな取り組み

新たな展開

○活動の仲間を広げる

- ・誰が中心になるか
- ・人の為に動く人（積極的に動ける人）を探す

○参加を増やす工夫

＝それぞれに活躍してもらう

- ・参加人数が減少しない工夫はないか。歌声喫茶の会員の増加を図りたい。
⇒みんなで手作り歌集を作る
- ・ハーモニカ、ギターなど演奏できる人に演奏してもらう
- ・バンド等ができる人を町内でよびかけ
- ・一人暮らしの人には、おみやげを持ち帰ってもらう

○高齢者の交通手段を確保する

- ・バス団地経由にしてほしい
- ・巡回バスの運行コースに入れてもらうように働きかける
- ・ちらしの工夫

最終目的

★明るい町づくり

★居場所のない人の“いばしょ”

校区内での活動状況

課題

【防災訓練の課題】

- ・防災訓練のスタッフが良かった（中学生）
- ・日大生にも防災訓練の協力を！！（消防団）
- ・防災、参加人数少ないマンネリ化（消防団）
- ・校区運動会のスタッフを中学生が担当する

【子ども会の現状・課題】

- ・市子連では子どもリーダーの育成を行っている
- ・大人が自治会に協力しないので、子ども会に入らない



- ・子どものコミュニティができない

【消防団の団員不足】

- ・消防団が団員不足で活動がままならない。

良い点

【子どもと高齢者の関わりがある】

- ・富士ビレッジの高齢者と子どもがランドゴルフを一緒にやったら、子どもも高齢者も楽しんでよかった
- ・子どもの成長を見ることができる（スクールガード）
- ・神社の掃除を子どもが一生懸命した

【あいさつできる地域性】

- ・地域の人との距離が近いので、地域の人に子どもが話しをできる。地域の方の背中を見ている
- ・地域の人とたくさん接しているのであいさつできる！

活動の拡大・新たな取り組み

●子どもたちをみんなで支える

- ・子どもたちに何かを一年間通してやらせたい
 - ・子どもが上下関係のグループができるとよい
- ⇒「子ども会」という形式にこだわらず、自治会などでサポートしたい

●中学生の活躍の場を！

- ・子どもに任せると意外といろいろできる
- ・地域で中学生が活躍できる場を与えてほしい
- ・部活動の中でリーダーを育てることもできる

●高齢者の居場所づくりにつながる

- ・忙しい親世代ではなく、高齢者が地域で子どもを育てることに関わることで、子育て支援と高齢者の居場所づくりの両立ができるのではないか
- ・地域の方と顔見知りになると子どもも安心する
- ・高齢者が子どもと関わると元気になる